

猫三兄妹のシャワー大作戦 ～アビイ・ビオラ・ぽーちゃんの日～

その日、なみのね家には、ささやかな嵐が吹き荒れようとしていた。

きっかけは、金髪王子——いや、肝臓の数値が高すぎるアビイちゃんである。

第一幕 アビイちゃんの試練

「王子、今日はシャワーでござる」

セラピスト兼お母さんは、王子を抱きかかえた。

アビイちゃんは、多少の抵抗を示しつつも、

「まあ、仕方ない」と観念して、びしょ濡れになった。

お母さんの細心の注意が功を奏し、事態は大惨事にならずに済んだ。

——ご褒美のチュールが出るや否や、王子のプライドはすっかり回復。

「うむ、苦労の甲斐はあった」と、ぺろぺろご満悦。

第二幕 ビオラちゃんの大乱闘

次なる標的は、短足マドンナ・ビオラちゃん。

「ひiiiiii——っ！！」と悲鳴をあげ、

「やめろ！出せ！くそおお！」と猫語で叫び、

足をばたつかせ、シャワー室はまるで戦場。

しかしお母さんのスイッチが入った。

「ここで退いてなるものか！」

細心の注意はどこへやら、最大限の大胆さで水を浴びせる。

その後、自動乾燥機に入れられたビオラちゃんは、

「監禁だー！虐待だー！」と叫び続けた。

だが、チュールを前にすると…

「まあ、今回は許してやるわ」と、ぺろぺろ。

単純で愛らしいのも、マドンナの魅力。

第三幕 ぽーちゃんの誕生日決戦

そして本日の主役、大日如来・ぽーちゃん。

「今日は誕生日。シャワーにするか、やめるか…」

お母さんは迷った。迷って、迷って、やっぱり決めた。

「誕生日だからこそ、きれいにしてあげたい」

シャワーをかけると、ぽーちゃんは「にゃあ…」と苦しげに鳴いた。

お母さんは即座に手加減し、首から上には水をかけない。

その気遣いに応えるように、ぽーちゃんは見事に自動乾燥機へすっぽり。
堂々たる忍耐力、まさに兄貴の貫禄。

(……ただし爪切りだけは別である。
保持しているお母さんをかもうとするほどの猛反発。
「それだけは、絶対に嫌ニャ！」)
——まあ、それもまた、ぽーちゃんらしさ。

そして最後は、チュール。
お誕生日だから、一番多くもらえたことは、
ぽーちゃんとお母さんだけの秘密である。

エピローグ

こうして、なみのね家の「シャワー大作戦」は大団円を迎えた。
アビイちゃんは王子の誇りを取り戻し、
ビオラちゃんは大騒ぎしてストレス発散し、
ぽーちゃんは誕生日の威厳を示した。
チュールの余韻に浸る三兄妹。
——結局、全員が「ご満悦」であることが、なにより大切なことなのだった。